

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」編集にあたって

白石 洋 一†

第3号では1999年7月、9月、11月、2000年2月の各研究会における採録論文8編を掲載しております。採録論文数/投稿論文数は、それぞれ2編/5編、1編/6編、3編/11編、2編/7編、全体として8編/29編で採択率は28%、第1号、第2号を含めると34編/69編で採択率は49%です。第1号、第2号の採択率は、それぞれ、61%、68%でした。今回大きく採択率が低下した原因の1つは、研究会発表と論文投稿まで行って実際には発表しただけでなかった論文、および、申し込み後取り下げた論文が多数発生したことがあげられます。ただし、これらを除いても第3号の採択率は38%と低く、今回は論文のレベルとしても採録に達しなかった論文が多数あったように思われます。論文の取り下げ問題については第2号でも問題として述べましたが、残念ながら改善されたとはいえ、ある程度の取り下げは仕方がないことかとも考えております。しかし今後とも対策を検討し、特に査読者にはご迷惑がかからないようにしていきたいと考えております。

第3号では、ソフトウェア工学、遺伝子情報解析、カオス、学習、および、遺伝的アルゴリズムの分野にわたる論文からなっています。いずれも第1号、第2号に掲載された論文の分野と近いもので、これらの分野はMPS研究会、TOMとして定着しつつある分野と考えられます。どの論文も最新の話題を取り扱い、現実の問題のモデル化、およびその解法を取り扱ったもので、各分野に大きな貢献をするものと考えております。また、配布部数も第2号に続いて1,000部を予定しております。

TOMも論文誌(Transactions)の1つとして今年度より新たな一步を踏み出し、さらに、種々の論文誌間で横の連携をとり、協力しつつお互いに発展させていくことになりました。今後の発展にご期待いただくとともに、本論文誌をご高覧のうえ、まずご発表と論文ご投稿を、さらに本論文誌に対するご指導、ご意見をお願いいたします。

† 情報処理学会論文誌「数理モデル化と応用」編集委員長
群馬大学